

「新之助」生育速報 No. 4

平成28年6月30日
村上農業普及指導センター

1 生育調査ほ・実証ほにおける生育状況（6月30日現在）

生育概況

草丈:並 茎数:やや少ない 葉数:やや進んでいる 葉色:並

○生育は、全体的に順調に推移している。

○茎数と葉色は、地域差がある。

○新之助生育調査ほ・実証ほの調査結果（6月30日現在）

調査場所	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
関川村下関（関川）	5月18日	37	600	10.4	39.4
村上市牛屋（神林）	5月16日	41	537	10.7	34.6
村上市十川（朝日）	5月16日	38	531	10.8	38.2
平均	5月17日	39	556	10.6	37.4
指標値（暫定）	5月15日	38	580	10.1	36.5
【参考：十川（H26、27平均値）】	5月13日	38	533	10.9	36.3

※ 調査場所は、普及センターで設置のほ場

2 今後の技術対策

当面の管理のポイント

◎中干し・溝切り後の管理

- ・中干し終了後（出穂の1か月前には終わらせる）は、間断かん水とし、幼穂形成期以降は飽水管理とする。

◎いもち病対策

- ・箱処理剤の効果は時間の経過とともに弱くなるので、常発地では水面施用剤の散布等の予防対策を行う。
- ・いもち病に対しては、常にほ場をよく観察し、発病を認めた場合には、直ちに防除する。

◎カメムシ対策

- ・県病害虫防除所から6月29日に「カメムシ類による斑点米の多発生」注意報が発表された。
- ・カメムシ類の住み処をなくすため、農道・畦畔の定期的な草刈りと本田内のヒエやホタルイなどの雑草を取りこぼさない。